

社会福祉法人 健和会

令和3年度 事業計画

法人の基本的な考え方

法人の運営理念にある「人としての喜び、やすらぎの場の提供、社会への貢献を不変の使命として常に意識し、より地域にひらかれた施設を創るべく行動します。」に基づき作成した中期経営計画に則り、経営課題として取り上げた「地域社会との交流に向けた取り組み」「施設資源の活用に向けた取り組み」「利用者サービスの充実にに向けた取り組み」「人材の育成・確保・満足度向上に向けた取り組み」の4項目を推進することで、「生涯活躍のまち」づくりを目指し、地域社会に貢献したいと考えます。

令和3年度の事業内容

1. 第一種社会福祉事業の実施
特別養護老人ホームパークレジデンスの経営
2. 第二種社会福祉事業の実施
デイサービスセンター パークレジデンスの経営
老人短期入所施設 パークレジデンスの経営
3. 公益を目的とする事業
 - (1) 居宅介護支援事業
 - (2) 介護予防支援事業の受託
 - (3) 住宅型有料老人ホームバーデハウス東員の経営

具体的計画

中期経営計画の1年目となる令和3年度は、新型コロナウイルスの影響もあり難しい局面もありますが「地域社会との交流に向けた取り組み」については、地域住民・団体との交流促進を視野に、地域イベント及び老人会等へのアプローチを行います。また、行政との連携強化や、多世代が交流できる環境整備を行います。「施設資源の活用に向けた取り組み」においては、天然資源を活用した施設整備、敷地の有効活用を行います。新たな事業の展開も模索したいと考えます。「利用者サービスの充実にに向けた取り組み」に向けては、医療ニーズに対応した体制の構築と利用者満足度の向上、家族との交流と連携強化を図りたいと思います。「人材の育成・確保・満足度向上に向けた取り組み」においては、人材育成のための人事考課制度導入と定着を図ります。また、働きやすい職場環境づくりをするとともに、外国人特定技能実習生を含む多様な雇用形態にて、サービスの充実にに向けた人材の確保をいたします。計数目標としては、事業活動収入計6億1千9百万円を目指します。

令和3年度 法人本部 事業計画

	目 標	具体的取組
1	地域住民・団体との交流を促進するための体制づくりを行うとともに、多世代交流ができる環境整備に着手する	①地域イベント、老人会行事等のリサーチと参加規定の作成および、各団体との連絡体制等、バックアップ体制を構築する。 ②近隣学校に訪問することで情報を収集し、学校との交流手段を模索する。
2	施設資源の活用に向け、各所から得られたニーズの集約を行うことで、新たな事業展開に向けた計画を立案するとともに、それに関連した資金計画の立案を行う。	①地域イベント、老人会、地域包括、行政などから得られた情報を集積し、地域ニーズを分析することで、新たな事業への計画立案に反映させる。 ②先進施設への視察と地域ニーズの把握に基づき、施設整備計画及び資金計画を立案するとともに、県庁長寿介護課に助言を仰ぎながら、設計原案をも作成する。
3	利用者サービスの充実に向けた医療体制の整備と、職員の質の向上のための計画的な研修の実施に向けたサポートを行う。	①医師を隣接した場所に確保するための条件を整理するとともに実現のための資金計画を立案する。 ②職員の資質向上のための研修計画を作成するとともに研修の選定、講師の招聘、研修実施方法の確立等、実施の補助を行う。
4	キャリアパス制度の確実な運用と定着を行うとともに、人材の確保、育成、働きやすい職場環境作りを行う。	①キャリアパス制度の運用管理を行う（日程管理・通年管理） ②外国人技能実習生、介護補助、高齢者雇用など多様な雇用形態での受け入れ体制の検討や勤務形態を検討し、整備を行うとともに、SNS等にての施設プロモーションを展開する。

令和3年度 特養/ショートステイ 事業計画

	目 標	具体的取組
1	地域、多世代との交流が出来るよう環境整備を行う。	①地域との交流を深めるため、ボランティアへの参加や受け入れ、地域行事への参加等を行う。 ②近隣の学校からの職場体験に向けての環境整備を行う。
2	新たな事業の展開に供するため、安定した稼働率を維持し、財政基盤を確立する。	①随時、入居相談を受け付け、ベッドコントロールを行うことで、特養稼働率 99%、短期稼働率 60%以上、全体稼働率として 94%以上を目指す。 ②病院、他事業所へ2カ月に1回の頻度で訪問し新規利用者の確保に繋げる。
3	家族と交流する機会を作る。また、利用者サービスの充実のため職員の知識、技術向上のための研修の開催実施、外部研修への参加を促す。	①家族が参加できる行事の計画を立案し、年1回以上実施する。 ②各委員会（食事、排泄、入浴、褥瘡、身体拘束）主催の施設内研修を年5回実施するとともに、外部研修へ年5件以上参加させる。
4	キャリアパス制度を定着させる。外国人技能実習生を定着させ、新たな雇用形態の検討を行う。	①キャリアパス制度を定着させるため面談、評価を行う。 ②技能実習生：指導計画をもとに指導を行い、半年後に各業務が一人で行える、1年後に夜勤が開始できるように月に1回の指導者会議を実施し指導する。また、現場に必要な就労形態を提案する。

令和3年度 看護部 事業計画

	目 標	具体的取組
1	地域住民に、自身や家族の健康に関心を持っていただく。	①施設見学を兼ねて、介護の実際を知っていただく機会を作る。 ②三世代を対象とした認知症講座を開催したり、健康寿命を延ばす勉強会や運動指導を実施する。
2	高齢者の脆弱な機能の改善に貢献するとともに、薬品依存を少しでも減らす取り組みを行う。	①温泉成分である保湿効果を活用し、表皮剥離等を防いでいく。 ②日光浴（外気浴）やアウトドア行事を開催し、眠剤に頼ることなく夜間よく眠れるようにしたり、飲水量をアップし、下剤の使用量を減らす。
3	家族との連携や職員のスキルアップも含めた、一貫した看護支援体制を構築する。	①医療情報トピックスの提供や介護職への医務研修、外部研修参加からのフィードバック等を通し、多職種との知識の共有を行う。 ②家族とのありのままを受け入れ合える関係作りを目指し、看護介護情報の提供等、意思疎通に努める。
4	自己研鑽により、自己実現への努力を惜しまない人材を育成するとともに、個々の職員の能力に見合った適正な評価を行う。	①看護のルーチン業務以外でも、個々の特性や資質についてしっかりと観察し評価する。 ②就業前カンファレンス後に部門目標の音読を行うことで、目標に沿った意識付けと実践を行う。

令和3年度 デイサービス 事業計画

	目 標	具体的取組
1	地域住民との交流促進のため、新規のボランティアの受け入れを図る。 地域イベントへの参加	①近隣市町村のボランティア団体を調査し新たな受け入れ先を模索し、招聘する。 ②地域に職員が参加できるイベントはないか調査をし、参加していく
2	天然温泉や敷地を活用した新しいデイサービスセンターの開設に向けた準備を進めるとともに 財政基盤を確立する	①先進施設の情報入手するとともに、温泉資源やリハビリ機器を活用した新フロアの設備計画を立案する。 ②稼働率95%以上を目指す。
3	利用者満足度向上に向けて、職員一人ひとりのスキルアップのための研修参加を促す。また、家族参加型の行事を開催する。	①専門職としての知識技能を高めるための研修へ1人1回以上参加させ、職員の質の向上を図る。 ②家族参加型の行事や、介護実態の見学会等を開催する。
4	人材育成のための人事考課制度を定着させるとともに、魅力のある働きやすい職場環境をつくる。	①キャリアパス制度に基づいた面談の実施と、定期的な職員会議の開催により意思疎通の改善向上を図る。 ②ホームページのブログ欄を活用し、定期的に情報発信していくことで、施設プロモーションを行う。

令和3年度 居宅介護支援センター 事業計画

	目 標	具体的取組
1	地域住民との交流促進を図る。	①老人会、地域カフェに参加し、交流を深めることで健和会の認知度を高める。 ②家族介護者教室を開催し、地域社会への貢献に務め、健和会のイメージアップを図る。
2	天然温泉や敷地を活用した新たな事業開設に向けた、情報収集を行う。	①地域の求めるニーズや先進的な他施設の取り組み等をリサーチし、法人本部へ報告する。 ②有効活用できそうな設備機器の情報もあれば併せて上申する。
3	新規利用者、困難ケースの情報共有を深め、支援体制を強化する。また、他機関の情報収集及び交流を行う。	①週一回の定例会議を持つことで新規、困難ケースを全てのスタッフが情報共有し、幅広い意見を取り入れながら支援していく。 ②月に1度以上、病院、各事業所、インフォーマルな機関へ訪問し、利用者の支援やプランに反映させる。
4	研修に参加をし知識を増やすと共に、伝達研修を行うことで説明力を磨く。また、事例検討会を実施し、チームのサポート体制を整える。	①1人が年間4回以上研修に参加し、ミーティング時には、他職員に伝達研修を実施する。 ②月1回、事例検討会を行い、意見交換や必要に応じたアドバイス、サポートを互いに行う。

令和3年度 バーデハウス東員 事業計画

	目 標	具体的取組
1	入居者と地域住民との交流や多世代交流ができるような環境整備を行う。	①近隣の老人会やイベントに参加するための計画を9月までに立案し、実施する。 ②地域の高齢者を対象とした行事計画を10月までに立案し、実施する。
2	・新たな事業の展開のため安定した稼働率を維持する。 ・入居者の健康増進のため温泉資源等を活用する。	①バーデ通信やパンフレットの定期的な郵送を月50ヶ所を目安に行う。また、ホームページや検索サイトの更新を月1回で行い、空き部屋状況等を提供する。 ②足湯とパークゴルフ場の整備を行い、安全安心に過ごせる環境を提供する。
3	・入居者のご家族に生活の様子を知ってもらえるよう情報発信することで、交流と連携強化、満足度の上昇を図る。	①年一回以上の家族参加型の行事を立案し実施する。 ②月2人以上の入居者のご家族に対し、写真や近況報告の手紙を発出する。
4	人材育成のための人事考課制度を定着させるとともに、サービス充実に向けた職員の質の向上を図る。	①キャリアパス制度に基づく面談を行う。 ②スキルアップ、サービス向上につながる外部研修、施設内研修への参加を全スタッフに促す。

・法人内委員会

法人全体として解決しなければならない課題を抽出し、検討を行います。また職員の資質向上のための研修会を企画運営します。

・各委員会について

(1) 身体拘束廃止・リスク委員会

介護事故やヒヤリハットの事例を分析することで再発防止策をたて、それを実行し、利用者・入居者に安心なサービスと生活環境を提供します。また身体拘束廃止ゼロを継続するため、課題解決に向けた全職員の理解と対策を検討し実行します。

(2) 倫理コンプライアンス委員会

人権はもとより、各法令順守を徹底させるために策定した、法人、事業所、職員が守るべき行動基準(健和会コンプライアンスガイドライン)を遵守させるとともに、問題の解決を図ります。

(3) 感染症・食中毒対策委員会

利用者・入居者にとって感染症及び食中毒に罹患することは体力を消耗するだけでなく、寝たきりになる危険性を含み、時には死に至るものであることから感染症の発生予防・蔓延防止のため対策を検討・実行し、利用者にとって安心できる環境をつくります。また適切な知識・技術習得の為の職員研修を開催します。

(4) 防災委員会

災害発生時に迅速に対応できるような訓練を行うのがよいか立案し、実地訓練では指導的立場となり実践します。また、火災だけでなく、大規模災害対策、救命救急訓練等の計画や実践も行います。

(5) 衛生委員会

安全衛生管理計画に基づき、利用者・職員全員の安心と安全を実現するため、職場環境の改善と労働災害・交通災害ゼロを実現します。

(6) キャリアパス委員会

法人の中期経営計画を基に、それに準拠した人事評価制度を定着させます。

(7) 食事サービス向上委員会

利用者・入居者に提供する食事サービスの内容やその環境、食器、自助具などの適正についての検討を行います。また随時、提供した食事全般に関する聞き取りを実施することで、より楽しくおいしく食べて頂けるような取り組みを行います。

・事業所内会議

事業所運営に関する課題を解決するための法人・各事業所毎の会議を開催し、より良い運営を目指します。

(1) 運営会議…毎月1回 月末開催

当月の各部門および法人全体の事業運営の状況（内容・収益状況）を把握、情報共有するとともに、翌月の行動計画を決め実行することで、法人事業の目標達成を目指します。

委員構成…理事長、施設長、事務局長、各部長、次長、主任、責任者

(2) 管理職会議（施設長会議）…週1回開催

管理監督者層による現状の情報共有を行い、分析し、問題点があれば、解決策を見出します。

委員構成…理事長、施設長、事務局長、各部長

(3) 特養ミーティング…毎月1回開催

特別養護老人ホームの事業所運営について話し合い、改善策を検討し、実行します。

委員構成…施設長、介護部長、看護部長、次長、主任、
リーダー、生活相談員、施設ケアマネ

(4) 居宅ミーティング…毎週1回開催

困難事例の検討・相談、介護保険制度に関する情報の普及研修、各種事業報告、困難事例等の情報共有、運営に関する課題解決などを話し合います。

委員構成…施設長、主任介護支援専門員、介護支援専門員

(5) デイミーティング…毎月1回開催

提供するサービスの向上の問題点、解決策・改善策を検討し、実行します。

委員構成…施設長、デイ職員

・職員教育訓練

法人にとって最も重要な資産である職員の教育をすすめ、地域や県、国のニーズに対応できる技術を習得し、また利用者・入居者の課題を解決するための体制づくりを目指し、各種関係団体が主催する研修会に参加したり、法人独自に職員の教育訓練を実施します。今年度はコロナ禍の中でもあることから、リモート研修も積極的に取り入れます。

内部研修としては、看取りに関する研修、事業の運営に深くかかわる職員に対する研修、新人教育研修、感染症及び食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修、事故発生防止に関する研修、医療に関する研修、防災教育等を行います。

令和3年度 年間研修一覧（予定）

研修名（仮）	実施予定時期	
新人研修 ※	適宜※	外部講師
高齢者サービスの接遇	4月	動画研修
認知症・認知症ケア	4月	動画研修
身体拘束防止、高齢者虐待防止	5月	動画研修
プライバシー保護、倫理・法令遵守	5月	動画研修
感染症対策、食中毒 ※	6月	施設内研修
高齢者の身体特性と排便コントロールについて	6月	施設内研修
人権研修 ※	3月	外部講師
メンタルヘルス研修	11月	施設内研修
非常災害時の対応（防災訓練）	年2回	防災委員会
緊急時の対応（救命救急） ※	未定	消防署員

※については施設内又は外部の講師もしくは社外研修により行う予定

それ以外の研修については、感染症リスク軽減のため、インターネットを利用した『メディパス』の研修動画を用いて行う。

【その他】

名称（仮）	対象	目的
支援・介護技術研修	全介護職員	基礎的支援・介護技術の習得
マネジメント研修	リーダー以上	指導力の育成、マネジメント力の強化
資質向上研修	介護支援専門員	全ケアマネのスキルアップを図る